

第3学年 学年通信

令和5年6月26日 第15号

学年目標

結実～努力が実を結ぶ～

「自分にあった勉強方法」って何だろう？

今週の水曜日・木曜日には、3年生になってから2回目の到達度確認テストがあります。3年生にとっては自分の進路を決める上で1つの指標となるものですから、それだけ準備を頑張っている人も多くみられます。特に第1回の自身の点数を超えようという目標を持っている人が多く、「自分自身」を超えるべき対象としていることはとてもいいことだな、と感じています。

さて、そうやって勉強に励んでいる人の中には、「今やっている勉強方法でいいのかな」とか「勉強していることが定着しているのか実感がない」という気持ちを抱えている人もいることでしょう。よく「自分に合った勉強方法が分からない」といった相談を受けることがありますが、それだけ「勉強をしなくてはいけない」、「学力を伸ばしたい」という気持ちの裏返しでもあるので、そういった悩みを持つこと自体はプラスだと思っています。

では「自分にあった勉強方法」に対する答えは？ あなたたちに納得のいく答えが分かりませんが、それはあなたしかわからないのです。この前職員室で先生方に「学生の頃、どうやって勉強していました？」と聞いてみたところ、その先生は「リビング学習をしていました。」と答えてくれました。少し雑音がある環境で、「その中でも集中して取り組んでいるなあ、自分」という実感が勉強をはかどらせるのだそうです。対する松井は、図書館の自習スペースのような「がっつき勉強する空間」の方がはかどります。また、音楽を聴く派、英単語は単語カードで覚える派、反対にひたすら単語帳に書く派など、先生方の中でも学習方法は全然違います。

要するに自分に合った方法は、「いろいろ試していく中で最も自分に合っていると思われる方法」を探していかななくてはいけないということです。よく勉強は「量より質だ」という人がいます。それはもっともですが、松井は「質」を求めるためにはその前の段階である程度の「量」をこなさないといけないのではないかと考えています。「睡眠時間を削ってまでする」となると本末転倒ですが、本格的に進路を見据え始めるこの時期に、学習に割く時間を少しずつ増やすなどの調整はしていくべきだと思います。

学習計画表うまく活用しよう！

今回の到達度確認テストはテスト期間を設定して行われる到達度確認テストですので、1・2年生と同様に学習計画表を作成して臨んでいます。見通しを持って計画を立てることも重要ですが、それよりも目標達成のために途中で計画を修正すること、そして、テスト期間が終了したときに振り返って反省・改善することが大切です。そういった力を身につけておくと、ゆくゆくは学習計画表を作成せずとも計画的に学習に取り組むことができるようになります。それは長期にわたる受験に向けての学習に大きく役立ちます。

さて、みんなの学習計画表を見せてもらい、土日を含めた学習内容・時間を集計しました。

平日の学習時間の平均 (21日、22日、23日)	1時間56分
休日の学習時間の平均 (24日、25日)	1時間58分

一般的に受験生の学習時間は、平日で3時間、休日で5、6時間とされています。当然、ぶっ通しで3時間学習することは困難ですから、スキマ時間を見つけてやっていく部分も必要です。朝の支度が終わって出発するまでの10分とか、学校から帰って習い事に行くまでの10分とか、見つけてみれば意外と多くのスキマ時間があるはずですよ。そういったスキマ時間を見つけるためにも、学習計画表は活用できるはずですよ。自分の進路決定のためにも、今できることをいろいろと模索しながら頑張っていきましょう。

